

## 特定非営利活動法人

## 阿波勝浦井戸端塾

### 組織の概要

\* 代表者：理事長 稲井 稔  
\* 所在地：勝浦町大字生名字月ノ瀬35番地1  
\* 活動分野：まちづくり

\* 活動地区：勝浦町  
\* 連絡先 (TEL)：0885-42-4334  
\* 連絡先 (FAX)：0885-42-4334  
\* HP：  
<http://www.geocities.jp/awakatuura/idobata1.html>

## 活動をはじめた「きっかけ」

昭和60年に勝浦町役場職員有志10人で町おこしグループ「ちえぶくろ」を立ち上げ、「全国に発信できるイベント」として「百段のひな壇」をメインとしたひな祭りを昭和63年4月に開催。

1,000体のユニークなひな壇と人形供養などが、全国的に話題となり、町職員だけでは運営ができなくなったことから、第4回以降を町の活性化グループ「阿波井戸端塾」が引き継ぐ（当時は任意団体）。その後、様々なアイデアでマンネリ化を防ぎながらひな祭りを発信し、平成14年にNPO法人の認証を受け、現在に至る。

## 現在の主な取り組み

### 『全国から注目されるスポットづくり』

#### \* ビッグひな祭りの開催

勝浦町生名の「人形文化交流館」で、家庭で不要になった、雛人形を全国から集めて、ひな祭りを開催し、供養する活動を実施。会場の中央にピラミッド状の百段のひな壇がそびえ、周囲の大小500段のひな壇に、全国から寄せられた30,000体のひな人形が飾られる。

#### \* 恐竜の里事業

平成6年4月に高知大学地質学教室生によって、勝浦町立川（通称アゲノ谷）で、白亜紀前期の恐竜「イグアナドン」の歯の化石が四国で初めて発見された。これを町おこしにつなげようと、バーベキュー施設や、恐竜の情報や標本を飾ってある展示場、噴水など「恐竜の里」を整備し、維持管理を実施。また、小学生が親子で参加し、化石・地質講座を行うウォークラリーを開催。

#### ▼ビッグひな祭りの模様



#### ▼恐竜の里度栗（恐竜化石資料）



阿波勝浦井戸端塾HPより

## ～活動団体の声～

井戸端塾が発端となり、町内での「ひな祭りの奥座敷」、西岡・横瀬商店街などの「各商店街のひな祭り」、坂本地区の「おひな街道・おひな様の奥座敷」など、町全体がひな祭り一色の盛り上がりを見せている。毎年、開催期間中に4万人（推定）が、訪れてくれるようになり、地域の活性化に繋がっている。

一方で、ひな祭りが全国に拡がっており、マンネリ化を防ぐ必要がある。地域活性化に向けた、新たな活動や交流館の活用などを考えていきたい。